



森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 12月園だより

令和2年 11月 27日
園長 新井 智子

〒108-0071
港区白金台 3-7-1
(3443)5666

<http://shirokanedai-kg.mina-to-kyo.ed.jp/>



いちにちどうぶつむら



「わくわく劇場」に思いを込めて

園長 新井 智子

森は木枯らしが吹く冬になりました。少し前、移動動物園「いちにちどうぶつむら」が実施されました。PTAの周年記念事業の一環で実施し、今年で4年目になります。子どもたちは、ずっと楽しみに待っていて、モルモットやヒヨコなどの小動物との触れ合いやヒツジやヤギへの餌やり、ポニーの乗馬など笑顔で積極的に関わる姿が見られました。動物たちは一日園内にいるので、午前中は学級の友達と、お弁当の後の時間は、好きな場所に友達と誘い合って向かい、動物との触れ合いを存分に楽しみました。親しみのある動物たちの温もりに触れ、気持ちさがほぐれるのか、動物だけではなく、友達にも心を開き、やさしく積極的に関わる様子が見られました。特に年長児は、誰かに頼まれた訳でもないのに、自然に年下の友達に寄り添い、相手の思いを汲みながら接していました。

12月は年長組の「わくわく劇場」があります。今年は、感染症拡大防止対策で、歌や合奏は3学期にし、劇に特化して進めています。題材選びから、子どもたちが行い、何度もお話を読みイメージを各々膨らませながら、友達と想ったこと考えたことを言葉にし、どのように形にしていくか共通にしました。連日、子どもたちがセリフを考えたり、場面に出てくる大道具を協力してつくったりと、意欲的に活動に取り組んでいます。年長組がこれまでの生活や遊びで経験してきたことの集大成です。話の展開も、必要な役決めも、大道具や衣装も子どもたちが、意見を言い合い、創意工夫しながら主体的に取り組み、進めていきます。学級の仲間として、一人ひとりが同じ目的に向かって楽しみながら、気持ちを合わせて頑張っています。年下の友達とはまた違う対等な立場の仲間として、堂々と意見交換する姿に、成長を感じる毎日です。

当日、みんなでつくった劇を演じる姿から、劇に対する子どもたちの思いや、仲間との温かなつながりが、皆様に伝わることを心より願います。

<今月の指導のねらい>

3歳児

- 自分の思いを言葉や動きで表しながら、友達と同じ場で関わったり遊んだりすることを楽しむ。
- 学級の友達と簡単なストーリーに沿って動いたり、自分なりに伸び伸びと表現したりすることを楽しむ。
- 衣服の調節や使った物の片付けなど、生活に必要なことが分かり、自分でできるようになった喜びを感じる。

4歳児

- 自分の思いや考えを伝えたり、相手の言葉や動きを受け止めたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分なりのイメージやめあてに向かって遊びに取り組み、繰り返し試したり工夫したりする。
- 自分たちの生活に必要なことや学級の中でする活動に自分から取り組んでみようとする。

5歳児

- 共通の目的に向かって自分の力を十分に発揮し、友達と協力しながら活動を進め、やり遂げた達成感や一体感を味わう。
- 遊びや活動の中で自分なりのめあてをもち、繰り返し挑戦したり、粘り強く取り組んだりする。
- もちつきや大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎える準備をする。

